

「雄飛の気流」



後援会会長 佐伯 みち子

学生の利用が可能となります。キャンパスライフも増々充実する事と思えます。

春光降りそそぐ候、後援会会員の皆様に於かれましては、日々ご健勝の事とお喜び申し上げます。また平素は、後援会活動に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成十九年度と二カ年の継続事業として行います購買部のコンビニ化も完成し、学生に好評です。店内は明るく安価で品揃えも良く、売り上げも好調という結果が出ています。テラス部分は、二十四時間利用が可能という事で、卒業研究に取り組む学生には特に喜ばれており、利用者が多いと伺っています。

今年はいよいよ学園創立百周年(大学創立四十周年)を迎えます。記念事業であります「百年記念館」の建設も順調に進み、完成時を思わせる姿となって居ります。この図書館を主体とした情報関連の複合施設は、平成十九年度後期には、

今年はいよいよ学園創立百周年(大学創立四十周年)を迎えます。記念事業であります「百年記念館」の建設も順調に進み、完成時を思わせる姿となって居ります。この図書館を主体とした情報関連の複合施設は、平成十九年度後期には、

後援会では、平成十八年度も地域別教育懇談会をはじめ特別事業等様々な事業・行事が盛会の内に挙行できました。これも常に各支部役員理事、会員の方々、そして大学関係者のお力添えを頂けたからこそと心より感謝申し上げます。

三月二十日には、学位記授与式が行われます。卒業を迎えられる学生の皆さん並びに保護者の方々に心よりお祝い申し上げます。

今年はいよいよ暖冬でした。就職戦々も冬の時期から脱出したように、大手企業中心に早期に内定した学生が多く、恵まれた年となりました。学生達の活躍を心よりお祈り申し上げます。すでに卒業された先輩方も重要なポストにつかれています。多く居られるようになり、又、大学の様々な教育改革により、優秀な学生の育成がなされている事もあり、日本工業大学の知名度は飛躍的に上昇しています。いよいよ大学全入時代を思わせる現象も現れて居り、これからは卒業生、親達、そして大学と連携し、強い上昇気流をつくり、

これから卒業される学生達が雄飛に活躍できるよう、大学の充実発展を主願とした後援会の活動が受け継がれることを願っています。最後に、大川理事長先生、柳澤学長先生はじめ教職員方のご厚誼に感謝申し上げます。又、会員の皆様には後援会活動に一層のご支援をお願い申し上げますと共に、ご健勝をお祈り申し上げます。

「新入会員説明懇談会」を開催

— 支部主催で全国17会場にて —

一月二十二日(日)から三月十一日(日)にかけて、全国十七支部の主催により、各会場にて「新



真剣に説明を聞く新入会員と新入学生の皆さん

これから卒業される学生達が雄飛に活躍できるよう、大学の充実発展を主願とした後援会の活動が受け継がれることを願っています。

最後に、大川理事長先生、柳澤学長先生はじめ教職員方のご厚誼に感謝申し上げます。又、会員の皆様には後援会活動に一層のご支援をお願い申し上げますと共に、ご健勝をお祈り申し上げます。

●平成19年度新入会員説明懇談会日程●

開催日	主催支部	開催会場	大学側出席者
1/21(日)	新潟県	長岡グランドホテル	吉見学生・就職支援課長
1/28(日)	近畿	尼崎市立小田公民館	初見就職支援課主任
〃	蔵王	オーヌマホテル	原田総務課主任
〃	福島県	清楓山俱樂部	石井財務部長補佐・総務課長
〃	千葉県	学友会館	磯経理課主任
〃	青森県	青森国際ホテル	栗本教務課主任
〃	岩手県	サザンパレス フォルテ	鈴木用度管財課員
〃	東海	名古屋市民会館	日下部教務課主任
2/3(土)	秋田県	協働大町ビル	京野学生支援課主事
2/4(日)	群馬県	マーキュリーホテル	大塚教務課員
〃	北陸	メルパルク金沢	林総務課主任
〃	茨城県	三の丸ホテル	松本図書館事務課長
2/18(日)	西中国	松江アーバンホテル2号館	杉村総務課主任
2/25(日)	静岡県	清水テルサ	江原学生支援課員
〃	長野県	長野県県民文化会館	藤田総務部長 倉島用度管財課長
3/11(日)	栃木県	ホテル丸治	入山学生支援課主任
〃	山梨県	ホテル春日居	渋谷総務課長

入会員説明懇談会」が開催されました。

会には、新入生とご父母が多数参加し、大学から出向いた事務職員による説明を真剣な面持ちで聞いていました。また、在校生や先輩会員による体験談なども聞くことができ、入学前の様々な不安を解消できたこと好評でした。多くの支部では懇親会も開催され、新たな地元会員同士の交流が始まりました。

四年間、学生が充実したキャンパスライフを送り、無事卒業できることが全ての親の願いであります。この新たな出会いを大切に、困ったときにはお互い相談できる後援会でありたいと思います。

四月二日(月)の入学式終了後には、昨年に続き「後援会をご理解いただく会」を開催します。支部のあるなしに係わらず、全新入会員にご案内し、後援会及び大学について広くご理解いただけるよう、まごころと熱意をもって新入会員をお迎えしたいと思います。

支部だより

後援会活動の思い

前秋田県支部長

木村 雅彦



二月三日、秋田県支部総会が開催され、無事、支部長の役目を後任の茂木新支部長に引き継ぐことができました。当日は、後援会本部から佐伯会長、大学から京野様に秋田までお越しいただきました。この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

今年の秋田は、豪雪だった昨年とは違ってかわって、暖冬でまったく雪がありません。思えば、昨年の支部総会は猛吹雪で、本部から出席していただいた窪田会長(当時)が、街中で遭難してしまふというハプニングがありました。その後、本部理事会に行くたびに、窪田会長からそのことを話題にされ、恥ずかしい思いをしたものでした。今となっては懐かしい思い出です。

私が、後援会活動に携わるようになったきっかけは、一年時に支部開催の地域別教育懇談会に出席したときのことでした。その懇談会の席上で、当時事務局の飛田氏から支部役員に誘われたのです。突然のことでビックリしましたが、人との交流が大好きな私は、これは面白そうだと直感し、二つ返事で引き受けることにしました。実際、その後四年間の後援会活動は本当に楽しいものでした。

私が支部長をしてから、二つの新しい試みを始めました。一つは支部会報を発行したことです。秋田県支部には七十名前後の会員がいます。その方々から毎年支部会費をいただいています。実際に支部行事に参加している会員は半数程度にすぎません。そのため、支部の活動内容を会員全員に伝えることが、支部長としての責務ではないかと考えたのです。会報委員の方々の御努力のおかげで、記念



支部総会で挨拶する木村さん



秋田県支部会報を創刊した念願であった

すべき会報第一号の発行にこぎつけることができました。これにより、支部活動への参加者が少しでも増えることを期待しています。

二つ目は、青森県支部との交流です。これは、青森県支部からの強い働きかけで実現したものです。互いの地域別教育懇談会に支部長が出席し、交流を深めることができました。青森県支部の中屋敷支部長を始め役員の皆様には大変お世話になりました。今後とも継続的に交流が続けられることを祈っています。

後援会の役割は、大学と子どもたちの橋渡しにあると思います。幸いなことに、大学には、秋田県出身の学生たちで組織する秋田県



一年生の時に参加した地域別教育懇談会(左端が木村さん)

人会があります。この県人会と後援会支部とのつながりを強化していくことが、これからの秋田県支部の課題だと思います。このことを後任の茂木支部長に託して、この拙い文章を締めたいと思います。お世話になった皆様、どうもありがとうございました。

後援活動に携わって

群馬県支部役員

木村 直美



私が支部役員を引き受けようと思ったのは、四年前の入学予定者父母説明会に参加した時でした。知り合いが支部役員をしていて、「支部役員になると色々な情報を得ることが出来、子供の事や大学の事等、何でも相談出来るのでどうでしょうか?」と誘われ、軽い気持ちで受けました。

最初の一年は役員会議に参加しているだけでしたが、二年目は会計を任されて少しずつ会の行事、それに伴う経費等が具体的に判るようになってきました。三年目は総務と本部理事になって、積極的に会の運営に携わらせていただくことができました。その中で感じたこ



支部役員紹介の場面(右から四番目が木村さん)

とを少し書かせていただきます。後援会群馬県支部は、県内の広範囲の中から役員を受けていただいた方々で運営されていて、私が今まで経験して来た、地域に根ざしたものは異なりました。

まず会議を行う場所・時間も限られてしまう為、コミュニケーションを充分にとる事が出来ませんでした。そこで支部会の一年の流れ(案)、各役割分担表(案)を作成しました。これを基にして役員全員が支部活動を把握して、役員会議に積極的に臨める様に改善しました。

また、支部会費未納者の方々は、支部活動の御理解と、支部会費の御協力をお願いを電話でさせていただきます。

その中で感じたことですが、大学後援会支部に対する受け止め方

や認識等が、多様化している事に驚きを覚えました。今後益々支部会運営の難しさを痛感すると共に、懸念せずには居られませんでした。

その様な時に、泊り掛けの本部理事会有りました。大学の学長を始めとする諸先生方・後援会本部役員・本部理事・宮代会（旧理事）の方々と、親しくお話しさせて頂いたとき、また様々な事を充分相談する事が出来ました。

理事会に参加させて頂いたとき、諸先生方・役員の皆様との良き出会いが与えられ、学生達の事を考え模索しながら前向きに取り組ん

で行こうとしている姿勢と情熱に感銘を受けて帰って来る事が出来ました。そして、たくさんの方々支えと努力によって、各支部があることを改めて思われました。

日本工業大学に、お世話になりました。貴重な経験をする事が出来ました。今後大学の方々の発展を願いつつ、良き人材を育成し、社会に送り出して下さることを期待して居ります。

最後に後援会事務局の皆様には、大変お世話になりました。御座いました。

天満宮例祭を挙行

二月二十六日（土）十一時より、キャンパス内にある天満宮社前において、例祭が挙行されました。

暖冬の影響で今年早くも境内の梅が満開を迎え、紅梅白梅が青空に映えていました。（写真上）

式は、宮司により、修祓（しゅばつ）、御扉開扉（みとびらかいひ）、献饌（けんせん）、祝詞奏上（のりとそうじょう）、玉串奉奠（たまぐしほうて



学生諸君の学業成就を祈願

成人式記念講演会

藤岡弘、ら人気タレントが成人を祝福

平成十九年一月十一日午後六時二十分から学友会館で学生自治会主催による第二十六回成人式記念講演会が開催されました。

強い第一声で講演は始まりました。講演会のタイトルは「若者よ、自己挑戦の旅をしよう」ということで、藤岡氏は自分が世界各国を旅した体験や人生経験を踏まえながら熱く語ってくれました。40分という短い時間でしたが、成人を迎えた学生たちに、「天・世界・国・人・家族・自己を愛し、熱く生きる」と力強いエールを送り講演を締めくくりました。

新潟支部創立30周年記念式典

平成十八年十一月十八日（土）、赤倉山荘において新潟支部創立三十周年記念式典が開催されました。

「日本工業大学宮代会」という組織があるのを皆さんご存知ですか？

日本工業大学宮代会のご案内

昭和四十六年二月に日本工業大学は第一期の卒業生を輩出しましたが、後援会の会員もご子弟の卒業と同時に卒業となつてしまふのは大変惜しい、この繋がりを継続していきたいという思いから「宮代会」が誕生しました。名称は大学の所在地である宮代町にちなんで付けられました。「和の精神と品位を尊重して、会員相互の親睦を図り、もって大学の発展に寄与



宮代会の懇親旅行（昨年12月上旬、修善寺もみじ林にて）

秋田県支部総会を開催

二月三日（土）、秋田市の協働大町ビルにおいて秋田県支部総会が開催されました。当日は「新入会員説明懇談会」も開催され、新旧の会員たちが大いに懇親を深めました。

「ことを目的としています。会則によると同会の正会員は、後援会理事もしくは支部役員経験者となっていますが、これに因わず広く会員を募ろうという意見が幹事会で提案されました。

明治四十年に本学の前身である「東京工科学校」が開学しました。以来、震災など様々な困難を経て、本年六月二十九日に、学園は創立百周年（大学創立四十年）を迎えます。

学園創立当時、近代国家を目指す日本にとって、工業生産力の増強は急務であり、本学園は「産業経済の発展に即応し、社会に有用な工業技術者を養成する」という教育理念を掲げて誕生。戦後は、新たな法制度の下、東工学園として出発。中学・工業高校による「ものづくり」教育を推進してきました。

学園創立100周年記念協賛事業 「百年記念館」完成に向かって

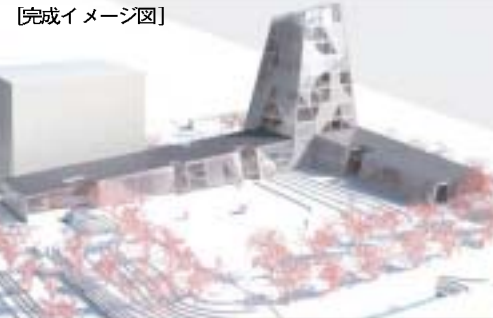


本学の前身である「東京工科学校」の校舎（昭和5年頃）

学園創立六十周年の昭和四十二年には、全国の工業高校からの熱い要請に応えて、「日本工業大学」を設立。現在では、中学から大学院まで一貫した工業教育を実現しています。学園は百周年を新たな飛躍の年と位置づけ、百周年記念事業に取り組んでいます。その目玉となる「百年記念館」の建設もまもなく完成を迎えます。



急ピッチで建設中の百年記念館
(平成19年2月28日撮影)



[完成イメージ図]

後援会行事抄

- 平成十八年十一月三十日(木) 後援会会報第七十三号発行
- 十二月三日(日) 第二回日本工業大学現職教員の集い
- 十二月十日(日)～十一日(月) 宮代会臨時総会
- 平成十九年一月十一日(木) 成人式記念講演会(学友会館)
- 一月十四日(日) 大学・後援会・工友会・宮代会合同新春懇親会(ウェスティンホテル東京)
- 一月二十一日(日) 新潟県支部新入会員説明懇談会(長岡グランドホテル)
- 二月二十八日(日) 近畿支部新入会員説明懇談会(尼崎市立小田公民館)、蔵王支部新入会員説明懇談会(オーヌマホテル)、福島県支部新入会員説明懇談会(清陵山倶楽部)、千葉県支部新入会員説明懇談会(学友会館)、青森県支部新入会員説明懇談会(青森国際ホテル)、岩手県支部新入会員説明懇談会(サザンパレスフォルテ)、東海支部新入会員説明懇談会(名古屋市民会館)
- 二月三日(土)～五日(月) 一般入試
- 二月三日(土) 秋田県支部総会・新入会員説明懇談会(協働大町ビル)
- 二月四日(日) 群馬県支部新入会員説明懇談会(マキキュリーホテル)、北陸支部新入会員説明

相談票

学科学年	
学籍番号	

生 氏 名	員 名	TEL
会 氏 名	連絡先	

相談票をご利用下さい

後援会では会員各位にこの相談票を通して、いつでも学生の成績・生活・就職等ご相談に応じられる窓口を開いています。右の票(便箋、ハガキでも結構です)に相談したい事項や、ご意見・ご希望等記入の上、事務局宛に送付下さい。可能な限り回答します。
ご意見・ご投書・ご寄稿もどしどしお寄せください。(事務局)

編集後記

記録的な暖冬となったこの冬。東京に雪が一度も降らなかつたことというのは観測史上初めてのことだそうです(もしかしたら、これから降るかもしれません)。寒がりの私にとっては有難かつたと思う反面、今後も続くであろう異常気象に、見えない恐怖を覚えざるにはいられません。梅の花も早々に満開を迎えましたので、三月二十日の学位記授与式には桜が咲いているかもしれませんね。お花見の計画はお早めに。